「化学物質取扱状況報告」の記入例（記入方法）

- (1) には、該当する化学物質の使用の有無を記入してください。
- (2) は、SDSなどを参照の上、商品名ではなく化学物質名（混合物質の場合は物質ごとに）を記入してください。
- (3) から から は、それぞれの選択肢の中から番号を選んで記入してください。
- (4) の選択肢

- 30 印刷 32 乾燥
- 31 かき落とし、剥離又は回収
- 33 計量、配合、注入、投入又は小分け
- 34 サンプルング、分析、試験又は研究
- 35 充てん又は袋詰め
- 36 消毒、滅菌又は燻蒸
- 37 成型、加工又は発泡
- 38 清掃又は廃棄物処理
- 39 接着 40 染色
- 41 洗浄、払しょく、浸漬又は脱脂
- 42 吹付塗装以外の塗装又は塗布
- 43 鋳造、溶融又は湯だし
- 44 破碎、粉碎又はふるいわけ
- 45 はんだ付け等 46 吹付
- 47 保守、点検、分解、組立又は修理
- 48 めっき等の表面処理
- 49 ろ過、混合、攪拌、混練又は加熱
- 50 その他

(5) の選択肢

- 1 摂氏0度未満
- 2 摂氏0度以上25度未満
- 3 摂氏25度以上50度未満
- 4 摂氏50度以上100度未満
- 5 摂氏100度以上150度未満
- 6 摂氏150度以上

(6) の選択肢

- 1 ペレット状の固体 2 結晶又は粒状の固体 3 微細・計量パウダー状の固体 4 液体（練粉及び液状混合物を含む） 5 気体

(7) の選択肢

- 1 1kg（1ℓ）未満 2 1kg（1ℓ）以上1t（1kℓ）未満 3 1t（1kℓ）以上

(8) の選択肢

- 1 ばく露作業報告対象物の製造 2 他の製剤等の原料として使用 4 製剤等の溶剤、希釈又は溶媒として使用
- 3 製剤等の性状等安定させ、又は変化させることを目的とした触媒として使用 5 洗浄のため使用
- 6 表面処理又は防錆のために使用 7 顔料、染料、塗料又は印刷インキとして使用
- 8 除草、殺菌、殺虫、防腐、漂白、脱臭、剥離のために使用 9 試験分析用の試薬として使用
- 10 接着のために使用 11 建材の原料として使用 12 その他

- (9) は、当該作業に常時従事する労働者数を記入してください。

平成 00 年 5 月 25 日

化学物質取扱状況報告（ファックス送信状）

〇〇労働基準監督署 担当 〇〇 様
(ファックス番号)

事業者名 株式会社労働商事
所在地 奈良市法蓮町〇〇番地
電話番号 0742-△△-□□□□
報告担当者 生産課 労働太郎

報告を求められた化学物質について、調査した結果は次のとおりでした。

1 がん原性指針物質の取扱状況

① 使用していない 使用している（使用状況は次のとおりです）

物質名 ②	作業内容 ③	取扱温度 ④	物理的性状 ⑤	作業1回あたりの使用量 ⑥	取扱人数 ⑦
トリクロロエチレン	30	3	4	2	3 人

2 SDS（安全データシート）交付義務対象物質の取扱状況（前記1の物質を除く）

⑧ 使用していない 使用している（使用状況は次のとおりです）

物質名 ⑨	作業内容 ⑩	用途 ⑪	取扱温度 ⑫	物理的性状 ⑬	作業1回あたりの使用量 ⑭	取扱人数 ⑮
クロロベンゼン	30	7	3	4	2	3 人
トルエン	41	5	3	4	2	3 人
キシレン	41	5	3	4	2	3 人

～ ご協力いただき、ありがとうございました ～

注1 取り扱う物質が多い場合は、恐れ入りますが、本書をコピーして使用してください。
注2 化学物質の調べ方、記入方法は、別紙「化学物質のリスクアセスメントに取り組みましょう！」を参照してください。
注3 不明な点などがありましたら、担当●●までお訊ねください。